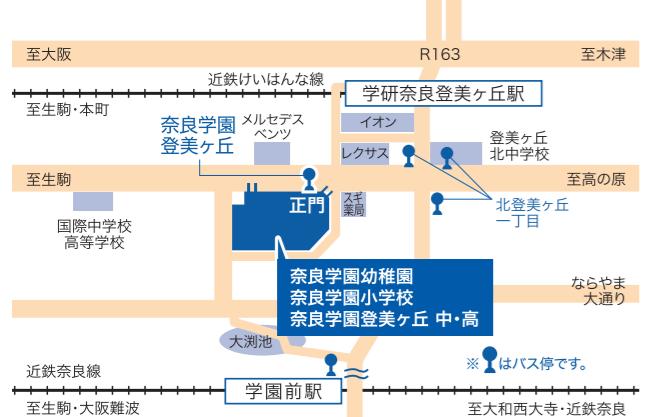


ACCESS MAP



近鉄けいはんな線
「学研奈良登美ヶ丘」駅 徒歩8分
奈良交通バス
「奈良交通バス」
「奈良学園登美ヶ丘」下車 徒歩すぐ
●近鉄奈良線「学園前」駅から 8分
※各時間については、
時間帯や交通事情によって異なる場合があります。



奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校チャンネル

奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校

〒631-8522 奈良市中登美ヶ丘3丁目15-1

TEL:0742-93-5111(代表) FAX:0742-47-9922

https://www.naragakuen.jp/tomigaoka/t_jun/

NARAGAKUEN TOMIGAOKA

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2025



子どもの「伸び率」 日本一の学校をめざして

Greeting ごあいさつ

どれだけ人工知能(AI)が進化しても、「夢を大きくもつこと」は人間の特権であり、人が人として生きるための大切な拠り所です。私たちは、好奇心を大切に育て、「尚志」、すなわち高い志と大きな夢をもってチャレンジすることへつなげていきたいと考えています。

本校では、学年ごとの宿泊研修や社会見学等のキャリア学習、大学や研究施設との提携講座、オーストラリアへの語学研修やホームステイ制度など、体験を重視したプログラムを豊富に用意しています。これらをとおして、希望する進路実現に必要な学力をきちんと身につける「伸び力」、自ら課題を見つけて考え、一つではない答えをチームで追いかける「探究力」、世界とつながり行動できる「国際力」、それら全ての活動の基盤となる「人間力」を総合的に高めて、大きな夢に挑んでゆく生徒を育成してまいります。

このため私は、子どもの「伸び率」日本一の学校をめざすことをスローガンとし、子どもにレッテルを貼らない、枠にはめ込む指導をしない、チャレンジできる仕掛けをつくることに取り組んできました。枠にはめる指導では、指導者を越える人材を育てることができないからです。

いま大きな変革の時代の渦中にあり、本校の建学の精神「自ら生きて・活きて」力を育むことが教育機関に課せられた社会的責務だと改めて痛感させられます。私たちはこれからも、生徒一人ひとりの可能性を信じ、知恵と力を大きく育て、協働して多様な現代社会の課題に挑み、たくましく生きていく子どもたちを育ててまいります。



奈良学園登美ヶ丘
教育総括監
中学校・高等学校 校長

安井 孝至

探究力

学問の面白さを 追究する能力

自ら課題を見出し、見方や考え方の異なる集団の中で柔軟な思考力や協働力・表現力を磨き、粘り強く問題に取り組む姿勢を学び、本校を卒業した次のステップで更に輝くために必要な「探究力」を培います。

学び力

大学受験に必要な 総合的学力

子どもたちの自己肯定感を高め、「もっと成長できる!」という自信のもと、自らの夢の実現に向けて前進していく主体性を養い、一人ひとりのうちに秘めた潜在能力を開花させる「学び力」を身につけます。

人間力

自立した社会人として 生きる力

学校生活の全ての局面において、自分を律する力、やりきる力、共感する力、創造する力、世の中に貢献しようとする力を鍛え、全ての学びの基盤である「人間力」を育てます。

国際力

世界とつながる 行動力

急速に変化するグローバル社会において、他者の視点や世界観を理解し、地球的規模で物事を考え、社会の諸課題に取り組んで行動できるグローバルリーダーに必要な「国際力」を育成します。

建学の精神

「自ら生きて・活きて」

を礎に、「和の精神」を大切にし、「たくましく生きる力」を育み、「科学的に物事を見る力」を身につける。

校訓

尚志 仁智 力行

志を高くし(尚志)、思いやりの心と知恵を持って(仁智)、何事にも努力して行うこと(力行)を意味しています。常に自分の夢と希望を大切にし、相手を思いやる心情と豊かに生きる知恵を身につけ、汗を流し、感動に涙する子どもたちであってほしいという思いや願いが、校訓にこめられています。



校章の丸いフォルムは「輪」をイメージし、本校の教育理念である「和の精神」を象徴しています。力強く羽ばたいて上昇する鳥は金鶴で、「たくましく生きる力」をイメージしています。金鶴の3枚の羽はそれぞれP(Primary)、M(Middle)、Y(Youth)を表しています。重なり合う12枚の葉は、イチイガシの葉をモチーフにして、P・M・Yの12年間に及ぶ小中高一貫教育により、子どもたちが大きく成長する姿を表しています。

「伸び率」日本一 進学実績

滋賀医科大学医学部医学科進学

私はII類で中学に入学し、M4でI類に移動しました。バドミントン部に所属しており、Y4の引退試合まで、毎日のように練習をしていました。その他には、Y3のときには、inochi Gakusei Innovators' Programというヘルスケア課題に取り組む課外活動プログラムに参加し、その関西大会で3位に入賞しました。奈良学園登美ヶ丘の良いところは、さまざまなことに挑戦できる環境が整っていることだと思います。手厚くサポートしてくださる先生方や互いに切磋琢磨し合える仲間との出会いが私の成長させました。高校では、最後まで成績が伸び悩んでいましたが、奈良学園登美ヶ丘でのこれまでの経験が、諦めず勉強し続ける原動力となりました。そして、一般入試で滋賀医科大学に合格することができました。奈良学園登美ヶ丘での充実した学生生活を今でも忘ることはできません。

野村 明生さん



医
科
大
学
SCHOOL OF MEDICAL SCIENCE

5つの 学び

— Five features —

Educational environment



I類

学習内容については、スピードよりも深度を意識し、発展的事項も取り入れます。

II類

学習内容については、内容の定着を意識し、基本及び応用的事項を中心とします。

※行事等の学年としての活動についてはI類・II類の区別は設けません。※学年が上がる際に、成績・希望等をもとに類の移動があります。

1

探究学習の推進

課題解決能力を培う

2022年度高校入学生から、新たに「探究学習」が導入されました。本校ではこの探究学習を中学段階から取り入れています(2021年度に中学完全実施)。答えが一つではないさまざまな課題に、グループ作業で取り組むことで、課題解決能力はもちろんのこと、コミュニケーション力・プレゼンテーション力も培います。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2

国際的視野を持った人材の育成

SDGsを見据えた取り組み

左記の探究学習のテーマをSDGs(持続可能な開発目標)の17目標のいずれかに設定し、高校2年次のオーストラリア語学研修(全員参加)では研究した内容を英語で発表することをめざします。また、希望者対象のターム留学(高校1年次)のほか、海外のリーダー研修にも積極的に参加し、世界を意識した人材を育てていきます。



3

ICT機器の活用

One to Oneシステムの導入

新型コロナ対応による一斉休校時にも、本校教員はインターネットを活用した授業・ホームルーム・個人面談などを継続。特に授業動画配信数は中高合わせて2,700本を超えるました。このようなICT機器を活用した教育を更に推し進めるため、1人1台のPCを持ってさまざまな活動を行うOne to Oneシステムを2023年度より全学年導入しました。

— • 休校中もICT活用で知と心の成長をサポート • —

01 YouTubeによる授業動画配信の実施
休校期間中だけで2,700本を超える授業動画を配信しました。

02 在宅学習の進捗状況をオンラインで確認
ロイノートでの課題提出、Classiを使って日々の学習や生活状況を確認しました。

03 Zoomを活用し個々の生徒をサポート
オンラインでの質問対応、自習室、学年集会、ホームルームの機会を設けました。



4

放課後学習支援の充実

個別指導による放課後学習サポートを実施、「尚志館」も開設しています。

放課後、自分の時間に合わせて自習することができます。疑問点があれば、自習室にいるチューターに質問し、その場で解決することができます。定期考査前には多くの生徒がこの「質問対応つき自習室」を利用しています。また、学校と連携した業者による個別指導サービス(有料)が受けられる「尚志館」も開設しています。ここでは、専門スタッフによる一人ひとりの学習状況に合わせた学習計画、学習アドバイスの他、講師によるマンツーマンの個別指導を受けることができます。

※希望者を対象としたものです。従来の本校教員による放課後の補習および講習も実施されます。



5

豊かな施設での学び

約3万坪の敷地に幼稚園から大学まであります。ナイト照明つきの天然芝のグラウンド、テニスコート6面、理科実験室5教室、約4万冊の蔵書があるライブラリー(図書館)など充実した学校生活を送ることができる施設が整っています。



進路実績

卒業生の多くが国公立大学、難関私立大学へ進学。

高校第13期卒業生126名が集めました。本校の進路指導は、生徒が希望する目標に向かって努力する姿勢を育てます。

今年度は、卒業生126名のうち、国公立大学へ34名が進学、私立大学へは73名が進学し、現役大学進学率は約85%となりました。

主な合格実績

2024年度大学合格実績(卒業生126名)

国公立大学

52名

私立大学
220名

医学部医学科
24名

歯・薬・獣医系
27名

医学部医学科

滋賀医科大学	1(1)名	金沢医科大学	2(1)名
京都府立医科大学	2名	大阪医科大学	1(1)名
和歌山県立医科大学	1名	関西医大	1(1)名
香川大学	2(1)名	近畿大学	3(1)名
愛媛大学	1(1)名	兵庫医科大学	1(1)名
岩手医科大学	1名	川崎医科大学	2名
自治医科大学	1(1)名	久留米大学	2名
国際医療福祉大学	1名	昭和大学(薬)	1名
昭和大学	1名	福岡大学	1名

歯・薬・獣医系

徳島大学(歯)	1(1)名	順天堂大学(薬)	1(1)名	武庫川女子大学(薬)	1(1)名
九州大学(歯)	1(1)名	同志社女子大学(薬)	2(1)名	岡山理科大学(獣医)	1名
岐阜薬科大学	1(1)名	立命館大学(薬)	1名		
京都大学(薬)	1名	大阪医科大学(薬)	1(1)名		
岩手医科大学(歯)	1名	近畿大学(薬)	2(2)名		
大阪歯科大学(歯)	4(4)名	摂南大学(薬)	7(7)名		
昭和大学(薬)	1名	神戸薬科大学	1名		

*合格者はのべ人数 ※()内の数は現役生数

合格者からのメッセージ

目標とする大学への進学を実現した先輩からのメッセージをご紹介します。



MESSAGE

01

東京大学
文科III類

赤土 碧 さん



MESSAGE

02

京都大学
農学部

前波 泰司 さん

奈良学園登美ヶ丘では、これから的人生の支えになる最高の6年間を過ごせました。意欲あふれる友達たちと切磋琢磨し、絆を深めたことで、より真剣に勉強に励むことができたと思います。親身になって協力してくださる沢山の先生方に質問をし、添削もしていただきました。その熱い指導のおかげで、予備校に通うことなく第一志望に合格することができました。中学の時から朝テストや終礼テストを繰り返すことにより、着実に実力を積み重ねることができたと思います。勉強だけでなく、尚志祭や宿泊研修なども充実しており、多くのことを学べるだけでなく、大切な思い出を残すことができました。皆さんも奈良学園登美ヶ丘で、一生モノの実力と思い出を得てほしいと思います。



MESSAGE

03

愛媛大学
医学部 医学科

山下 美玲 さん

受験期間は余裕がなくなりて当然で、支えとなる人が必要だと私は感じました。それは家族や先生、6年間一緒に学んできた友達など人それぞれだと思いますが、受験という同じプレッシャーを抱える仲間が近くにいること、それもたくさんの経験を共にした仲間と過ごせたことはとても心強かったです。疲れた時、不安に駆られた時、その思いを共有するだけでも少し気分が楽になりました。また、私にとってこの学校は、勉強だけでなく遊びにも夢中になれる場所でした。受験が近づくにつれて勉強のために学校で過ごす時間も増えましたが、その合間に友達や先生と思いっきり楽しむことで、長い受験期間を乗り越えることができたと思います。



MESSAGE

05

京都大学
工学部

松崎 凤霸 さん

奈良学園登美ヶ丘では修学旅行や文化祭などの様々なイベントを楽しむことができます。そのイベントの多くは先生達から全てが与えられるわけではなく、自分達で考え行動に移すことが多く、友人と一緒に道なき道を切り開いて行く楽しさを感じることができます。また、勉強面においても質問をすれば分かるまで教えてくれ、自分の解答を丁寧に添削してくださる先生方によって着実に実力をつけることができます。私自身受験時には塾や予備校に通っていましたが、学校で多くの講座が開かれ、自分の志望校に特化した勉強ができる志望校に合格できたのだと思います。入試直前で緊張していた時に励ましてくれた先生達には感謝しかありません。皆さんもぜひこの学校を楽しみ、夢へと向かって羽ばたいてください!



MESSAGE

06

京都府立医科大学
医学部 医学科

稻岡 和輝 さん

奈良学園登美ヶ丘では、6年間充実した楽しい日々を送ることができました。奈良学園登美ヶ丘は自由な校風でのびのびと学生生活を送ることができます。自分の好きな事をとことん突き詰めた個性的な友達が多く、とても刺激的で互いに高めあえる素晴らしい環境でした。また、様々な部活があたり文化祭・修学旅行などのイベント事も充実していて、沢山の思い出を作りました。一方勉強面では、放課後や長期休暇中に様々な講座が開かれていたり、一つ一つの質問に熱心に対応して下さる先生方がいたりと、手厚いサポートを受けながら勉強を進めることができました。皆さんにも奈良学園登美ヶ丘で勉強、学校生活共に充実した素晴らしい6年間を過ごしていただきたいです。

協働することを通じて、将来に役立つ力を育む 探究学習プロジェクト

身近な課題からはじめ、最終的にSDGsに取り組むことで受け身ではなく自ら考え、
自ら動ける人間になることをめざします。

01 主体性

自らが課題を設定し、
積極的に学ぶ力



探究学習で 身につく力

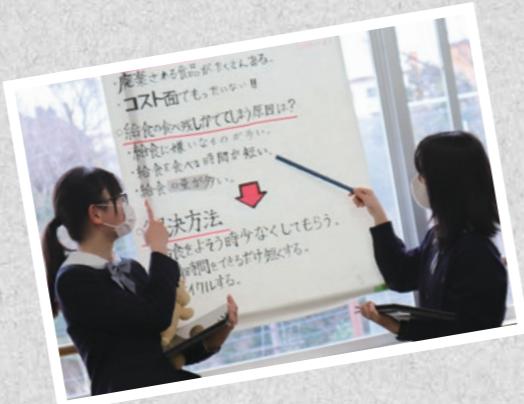
正解のない課題に他人事ではなく、
自分の事として取り組む体験を通して
社会で役立つ様々な力を育てます。

02 思考力

正解のない課題に
自由なアイディアを持ち寄って考える力

03 課題解決力

課題解決に向けて
情報を収集・整理・
分析する力



探究学習の すすめ方



話し合う

周囲の人と意見交換・協働する



まとめる

気づきや発見、グループの考え方などを
まとめる



発表する

まとめた事を相手に伝わるように
様々な工夫をして発表する

SDGs

持続可能な開発目標

2015年の国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標で構成されています。本校の探究学習は、最終的にこの17目標から課題を設定することを目標としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



具体的な取り組み

2022年度から高等学校のカリキュラムとして取り入れられています。
奈良学園登美ヶ丘では、中学1年生から探究学習がスタートします。

M3 中学1年 グループワーク

身近な課題を題材にグループで話し合いプレゼンテーションを行います



M4 中学2年 ソーシャルチェンジ

グループワークで学んだ手法をもとに、社会に存在する課題に取り組みます

クエストカップ2024全国大会に出場

「クエストカップ2024 全国大会」の社会課題探究部門「ソーシャルチェンジ」に、本校のM4学年(中2)代表2チームが出席しました。「趣味のない人に趣味を提案するアプリの開発」、「公共交通機関の優先席をいつ譲ればよいかの啓発ポスター・動画の提案」をテーマにチームで深く探究し、他校の高校生たちに勝るとも劣らない素晴らしいプレゼンテーションをしてくれました。

Y1 中学3年 コーポレート アクセス

企業の協力のもと、様々な課題をより現実的に解決していく手法を考え、学びます

Y2 高校1年 グループ探究

SDGsをテーマとして自らの課題を設定し、さらに学びを深めます

Y3 高校2年 英語による プレゼンテーション

自らの課題を海外で英語で発表します

SDGs QUESTみらい甲子園 関西エリア大会 ファイナリスト選出

SDGsの目標達成に向けた高校生たちのアイデアコンテストである「SDGs QUESTみらい甲子園関西エリア大会」に応募した約300チームの中から、本校のY2学年(高1)の1チームが、ファイナリスト12チームに選出されました。彼らのアイデアである「スマート板書ペン」は、授業中に板書を取り際、前の人隠れて黒板が見えず困った事から思いついたものです。身近にある不便なことが大きな課題解決につながるということを実感できる貴重な機会になりました。

Teacher Voice

探究学習のねらい

自ら課題を設定し、答えのない問い合わせで考えていく探究学習は、急速に変化するこれからの社会に対応するために、生徒たちにとって必要不可欠な学びだと考えます。本校の探究学習は、4~5人のグループで取り組むことで、個々の視野を広げるだけでなく、互いの良さを認め合うことにもつながり、生徒たちが「協働する」ことの重要性に自然と気づいていきます。また、生徒たちの自由な発想から生まれるアイディアは、大人の私たちが見ても感心させられるものが沢山あり、生徒たちの成長を日々実感しています。



探究学習プロジェクトチームリーダー 野秋 真孝先生

Student Voice

探究学習プロジェクトを通して、先輩たちが感じたことや学んだこと

社会を身近なところから変えていくという新たな気づきがありました。人それぞれの意見を尊重し、互いに高め合うことの大切さを知りました。「探究って何をするんだろう?」はじめはそんな印象でしたが、一つのテーマを深く掘り下げていく中で、自分とは異なる考え方や意見の人人がたくさんいることを知ったこと、そして何よりも、チームみんなで課題をクリアしながらまとめた提案が、ポスターセッションで評価されて優勝できた経験は、これまでにない貴重な学びになりました。



M3 M4

中学1年

基礎的な学力と 知識・技能の習得

基礎・基本となる学力を徹底して鍛え、自主的な
計画に基づいて学習する習慣を身につけます。
英語・数学に関しては、M3・M4の2年間で中学
内容を終え、発展的な内容にも挑戦します。

中学2年



分かりやすく教えてくれます。

先生方が丁寧に

密度の濃い授業が多く、
集中力が求められます。

学びのポイント



01 教員ステーション

中1(M3)～高2(Y3)では、職員室とは
別に、学年別の職員室(教員ステーション)
が各フロアに設置されています。生徒
が普段生活しているフロアに教員の部屋
があることで、生徒からの質問や面談な
どに対応しやすい環境が整っています。



02 豊富な理科実験

充実した設備を活かし、様々な実験に
取り組みます。本物に触れることで理
科への理解を深め、学ぶ意欲を引き出
します。

特色ある授業

◆ いのちの授業 中2(M4)



奈良県助産師協会より講師を招き、「いのちを
振り返って」、「いのちの誕生・育ち」をテーマに
出前授業をしていただきます。「生かされている
いのち」について理解を深め、周囲への感謝の心
を育みます。

◆ スピーキング・リスニング学習アプリ(英語)



生徒が吹き込んだ英語をAIが自動採点してくれ
る学習アプリを導入しています。スピーキングだ
けでなく、リスニング対策や英検の面接対策も
可能です。AIが良くできた点や改善点を詳細に
判定し、アドバイスをします。授業や宿題で活用
し、英語を話す意欲や楽しさを引き出します。

宿泊研修



中1 (M3) 4月 宿泊オリエンテーション

兵庫県ハチ高原で2泊3日で実施します。入学直後に行くこと
により、これから6年間を共に過ごす仲間との絆を深めます。



中2 (M4) 5月 白浜宿泊研修

和歌山県白浜地区で3泊4日で実施します。事前学習のもと、
近畿大学水産研究所などで実習・見学を行います。

その他の学校行事



6月 中学体育大会

10月の幼小中高合同運動会に加えて、中1(M3)から中3
(Y1)までによる体育大会が6月に行われます。午前の部は
陸上競技会として、個人の目標を達成すべく短距離や中距
離走に取り組みます。午後の部は運動会として、騎馬戦や学
年団体競技を行い、最後は学年を縦割りにした組対抗リ
レーで締めくられます。



中1 (M3) 10月 社会見学

秋に、飛鳥へ社会見学に行きます。各クラスで事前に分けられ
た班が担当する史跡を調べ、現地で説明します。夏休み前か
ら少しづつ準備を進めていき、地理の時間等を利用し、調べ学
習を行います。当日は各クラスごとに分かれて出発し、高松塚
古墳、天武・持統天皇陵、橘寺、石舞台古墳、酒船石、飛鳥寺など
約10kmの行程を巡ります。一生懸命調べていたものを間近
で見ることで生徒たちは驚き、感動します。その後、現地で学ん
だことをもとにパワーポイントで資料をつくり、プレゼンテー
ションを行います。各クラスで予選を行い、決勝進出グループは
学年全体の前で発表を行います。このような体験を通じて学習
する意欲、プレゼンテーション能力を高めています。



7月 英語プレゼンテーションコンテスト

EC(English Communication)と英語の授業を利用し
て、英語のプレゼンテーションに取り組んでいます。生徒全
員が、自身のChromeBookでスライドを作成し、英語で原
稿を書き、それを暗唱し、ジェスチャーやアイコンタクトを
交え、英語でプレゼンテーションを行います。クラス予選を
突破した各クラス上位4名は本戦に進みます。本戦では、上
記に加えて、舞台上を歩き回り、観客に質問し、流暢な英語
で発表します。また、中2(M4)においては、優勝者と準優勝
者は校外のコンテストに出場します。

進路サポート

△ 学習状況の確認

日々の学習時間や学習内容のほか、一日の生活の
振り返りなどもChromebookで記録します。教員
がその記録を確認し、アドバイスを送ります。毎日
記録を続けていくことで、日々の学習や生活を見直
せるだけでなく、積み重ねた努力が分かりやすくなる
ので、意欲の向上につながります。

△ 定期考査事前・事後シート

定期考査の2週間前を目安に、事前・事後シートを
配布します。目標点と共に学習のポイントやテストま
でに確実にこなしておかなければならない項目を
シートに記入することで、学習箇所が明確になり、意
欲的に勉強を進めることができます。また、テスト実
施後は事前シートと見比べながら考査への取り組
みを振り返り、次回への反省を書き残します。毎回の
定期考査を受けただけ終わらせないよう、事後の
指導も徹底して行っています。

△ 英語検定

中2(M4)終了時までに中学卒業程度である3級
の取得をめざします。筆記試験対策だけではなく、
英語科教員による面接練習を行い、実際の試験に
近い形での訓練をつみます。本校が本会場に指定
されていることから、通い慣れた学校で受験するこ
とができます。目標級をクリアし、さらに上の級を
受ける生徒も多く、チャレンジ精神を持って取り組
んでいます。

中学3年

高校段階への スムーズな移行

中学3年からY(Youth)課程となり、
校舎や制服が高校生と同じになります。
高校入試が無いというメリットを活かし、
中学3年生ではなく、高校0年生としていち早く
高校へのスタートを切る学年となります。

高校1年

将来のことを考えて、
自分をしっかりと見つめること、
視野を大きく広げることが
必要になってきます。

学びのポイント



中学校段階を終え、 高等学校段階へ

授業が高等学校の内容となります。英語・数学はもちろんのこと、国語・理科・社会の一部においても高等学校の内容を積極的に取り入れます。中学校の内容と高等学校の内容が重複している部分を統合し、無駄なくスムーズに大学受験レベルの内容へと移行していきます。

◆模試対策(Webテスト)

大学入試に向けて英・数・国語の模試を定期的に受験しています。その模試対策として、Webテストを実施しています。問題は、基礎・標準・応用と段階別になっており、個々のレベル、目標に合わせて選ぶことができます。Chromebookを利用して、学校で取り組んだり、課題として自宅で取り組んだりしながら模試に向けて準備を行っていきます。



◆希望者補習

朝テスト等の不合格者に対する補習に加え、より発展的なレベルをめざす希望者補習を放課後や始業前に実施しています。英語や数学の既習事項に基づいて、大学入試問題などにチャレンジし、更なるレベルアップをめざします。やる気があれば誰でも参加でき、そのような生徒同士が互いに切磋琢磨していく空気が醸成されています。(希望者のみ対象)



◆スタディサプリ

生徒の数だけ理解のレベルがあり、必要なサポートも異なります。このようなニーズにより細やかに応えるツールがスタディサプリです。忘れてしまった内容を復習したい、不安な部分を何度も聞きたい、もっと発展的な内容を知りたいに応えるサポートです。個々のニーズに合わせて活用できます。(希望者のみ対象)



特色ある授業

宿泊研修



中3 (Y1) 5月 沖縄宿泊研修

沖縄本島で3泊4日で実施します。沖縄戦・基地問題を中心とした平和学習のほか、豊かな自然を満喫する体験学習も行います。



高1 (Y2) 9月 イングリッシュキャンプ

次年度のオーストラリア語学研修の準備として、2泊3日の英語漬けの研修を行います。グループを少人数にすることで、英語を話しやすい環境を整えています。

その他の学校行事



4月 高校体育大会

10月の幼小中高合同運動会に加えて、高1(Y2)から高3(Y4)までによる体育大会が4月に行われます。陸上競技を中心とした種目と学年を超えたまとまりである「団」対抗の種目で盛り上がります。企画、準備、運営なども生徒主体で行います。



中3 (Y1) 7月

スピーチコンテスト

生徒が事前に準備した原稿に基づき、英語でのスピーチを行います。前学年までのプレゼンテーションコンテストとは違い、「英語をきれいに発音すること」だけでなく、「英語を使ってどんな話ができるか」も重視されます。ジェスチャーを交え、パラエティに富んだ内容のスピーチが行われます。



高1 (Y2) 9月

アクワイナス カレッジとの国際交流

高2(Y3)のオーストラリア語学研修で訪問する学校の一つであるアクワイナス カレッジの生徒が来日し、交流を行います。生徒による日本文化の紹介や、レクリエーションなどを英語を使いながら行います。生徒の家でのホームステイも受け入れています。

進路サポート

◆ 大学探訪
～OB・OGを訪ねて～

高1(Y2)
高2(Y3) 11-12月

進学希望者の多い大学を訪ね、施設見学やミニ講義を行うとともに、その大学に在学している本校OB・OGと懇談することで、実際の大学生活などの細かな情報や、入試への学習対策も聞こうという行事です。過去京都大学、大阪大学、奈良県立医科大学で実施しました。憧れの先輩の生の声が聞ける貴重な機会です。

◆ 卒業生による
キャリアトーク

高1(Y2) 2月

社会人として活躍している卒業生から、仕事内容やその仕事に就いた動機、厳しさ、楽しさ、やりがいなどについて聞く行事です。職業について知ることで自己の進路について深く考え、勉強のモチベーションも高まることがあります。卒業生も中高生時代の話を交え、熱く語ってくれます。

◆ 各種模試・
定期考査結果の共有

外部模試の結果はクラウドサービスを活用し、学校と生徒だけでなく、学校と保護者の間でも共有します。また、定期考査や小テストの結果なども共有することで、様々なデータを活用した学習指導・進路指導を行います。

Y3 Y4

高校2年

文系・理系に分かれ、
最難関大学をめざす

Y3からは類型(文系・理系)を設定し、
最難関大学・学部、あるいは海外の大学も視野
に入れた、発展的な学習に取り組みます。

高校3年

自らの主体性が問われる毎日です。
勉強にクラブ活動、そして
学校行事に海外語学研修と、



学びのポイント



01 文系・理系の選択

将来、社会でリーダーとして活躍するためには多様な価値観に対応できるバランスのとれた「教養」を身につけておくことが必要です。高2・高3(Y3・Y4)では、文系・理系を選択しながらも、幅広く科目履修ができるようカリキュラムが組まれています。



02 難関大学対応の演習中心の授業展開

高2(Y3)段階では入試に必要な基礎力からじっくりと固め、標準的・発展的な問題を解けることを目標にします。高3(Y4)では生徒の志望に応じた大学入試で必要な発想力・応用力の育成を行います。

医系小論文・面接講座



面接が必須である医学部や歯学部を志望する生徒を対象に、医学部専門予備校から講師を招いて対策講座(有料)を実施しています。医療に関する情報や医学者としての心構えなどを学習する他、医系小論文の添削指導や面接指導など、医学部・歯学部を志望する生徒へのサポートを行います。

宿泊研修



高2(Y3) 6月 オーストラリア語学研修

全員参加で2週間、クイーンズランド州で実施します。全員一人一家庭のホームステイ(10日間)により、英語しか使えない環境で暮らします。

進路サポート

卒業後の進路をどうするかは、
基本的に本人の希望が尊重されるべきであり、
実現するかしないかは本人の意志によるところが非常に大きいと言えます。
そこで本校は、生徒が自己の目標に向かって最後まで努力する姿勢を育成し、
必要な情報や適切なアドバイスを通じて
自身の希望を達成できる環境を提供します。



△ 進路講演会・合格体験発表会

予備校等から講師を招いて、最新の入試情報や大学の情報を提供していただき、生徒が志望校決定や学習計画を立てる参考としています。また、受験を終え志望校合格の栄冠を勝ち取った先輩に来てもらい、受験に向けての心構えや勉強法の工夫など、自らの体験談を熱く語ってもらいます。



△ 進学対策補習

放課後や休暇中を利用して、「志望校別」「テーマ別」の講座を開設しています。基礎分野の復習から、大学入試実践まで幅広く講座を設け、実力アップをめざします。学年担当の教員はもちろん、放課後・長期休暇中の講習では奈良学園登美ヶ丘の全教職員によるサポート体制を確立しています。



△ 高3(Y4)では学年担当教員の職員室を学年フロアに設置

高3(Y4)では、学年担当教員の職員室を、生徒が普段生活しているフロアに設置しています。学年の教員が常に教室の近くにいることで、受験学年へのきめ細やかなサポートを実施。フロアには個別指導が可能なスペースが設置され、放課後には多くの生徒が質問に訪れます。





国際交流

イングリッシュキャンプ・オーストラリア語学研修のほか、英語を使用する様々なプログラムを実施しています。



学習サポート

生徒が「なりたい自分」になるために、日々の学習サポートを実施しています。

英語校内コンテスト

中1(M3)～中2(M4)では、全員参加の英語のプレゼンテーションコンテストを、中3(Y1)では、英語のスピーチコンテストを実施。「英語を話せる」だけでなく、「英語で何を話す、どのようにして相手の心を掘むか」も考えます。



ターム留学

高1(Y2)の3学期に、希望者を対象としたオーストラリアの教育連携校へのターム留学(10週間)を実施しています。



アクワイナス カレッジ来校

毎年2学期には、教育連携校であるアクワイナス カレッジが来校。本校の生徒がパディをつとめ、一部のご家庭ではホームステイも実施しています。



グローバル コンピテンス プログラム

グローバル化がますます進む現代社会において、世界の人々と渡り合って行くためのマインドセットやスキル、知識を身につけ、グローバル人材として必要な能力を習得するためのプログラムです。全国的に導入事例はまだ少なく、本校は先駆的な存在として、このプログラムをスタートさせました。単に「英語の授業」にとどまらず、「世界で活躍するためのマインドセットを英語で育成する授業」です。授業では個別の端末と専用アプリを駆使して、グローバルな舞台で活躍できる姿勢と思考回路を学習し、身につけます。



朝テスト

M段階(中1・中2)では、朝のSHRの時間(8時35分～8時55分)の間に朝テストを実施。英語や数学などの小テストを通じて、日々の学習内容に取りこぼしがないかをチェックします。合格点に達しなかった場合は、原則その日の放課後に補習・再テストを実施。その日のうちにつまりの解消を図ります。



セミナー合宿

高2(Y3)では、8月・12月・3月の長期休暇中に希望者を対象としたセミナー合宿(2泊3日)を実施。校外の研修施設を利用し、数学を中心に教員のサポートのもとで、徹底した自学自習(約30時間)を行います。



自習室

高校段階(Y2～Y4)の各フロアには、キャビネットを設置した自習室を設置。始業前や放課後には自教室やライブラリーなどでも自習は可能ですが、学習に集中できる自習室を利用する生徒は多いです。なお、高3(Y4)では、事前に登録した生徒は20時まで利用が可能です。



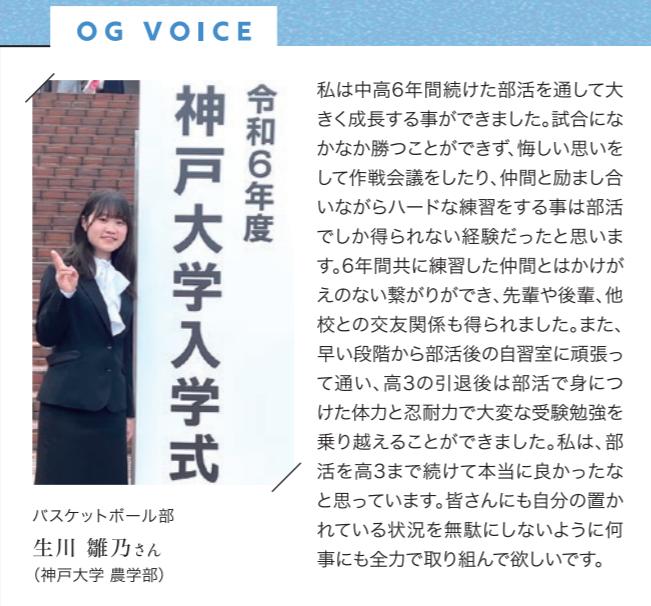
ー 希望者補習

Y段階(中3～高3)では、希望者を対象とした補習を放課後や長期休暇中に実施。特に高3(Y4)では、それまでのレベルや受験科目に応じた様々な補習を開講。塾や予備校に通わざとも、大学受験レベルまでの学習が可能です。(費用はかかりません)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
鍊成講座時間割	7:50-8:20 演習室	数学IAIIB 基礎演習	数学IAIIB 基礎演習	数学IAIIIB 基礎演習	数学IAIIIB 基礎演習	数学IAIIIB 基礎演習
	13:30-15:00					政経演習
	16:30-18:00 共通テスト 私学入試 古典	理系化学		理系生物	理系化学 共通テスト対策	国公立 英語
	18:00-19:30 最後の 英文法	物理 電磁気理解度 UP演習	数学III 標準演習	数学IA 総復習	物理 入試頻出 問題演習 国語 難関国公立 記述対策	私立 英語
朝・終・終 終・終・終	朝テ	国語演習	英単語(CD組)			英単語(CD組)
	終テ				リスニング	リスニング
	物:15:30-17時 物:16:30-17時		物理補講	物理テスト		

CLUB ACTIVITY

運動部



委員会・研究会

ONE YEAR

気づきと発見を積み重ね人として大きく成長する1年間

様々な行事への参加を通して、季節の移ろいを感じ、本物にふれ、感じる心を養います。
生徒による発表の機会を設けることで、個々のプレゼンテーション力を育み、新たな自己発見へつなげていきます。

奈良学園
登美ヶ丘の
1年



ONE DAY

学習はもちろん、すべての時間を充実させる1日

奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校では、充実した授業日数、授業時間を確保しています。
年間授業日数は255日にもおよび、多くの学習機会を設け学習内容の定着を図るよう、工夫された時間割、校時となっております。



朝テスト



給食



授業
(English Communication)

	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	時間	土曜日
	8:35~8:55	朝礼・朝テスト					8:35~8:55	朝礼・朝テスト
1限	8:55~9:40	保健体育	理科2	数学イ	理科2	国語A	8:55~9:40	国語A
2限	9:50~10:35	書写	英語	数学ロ	国語B	数学イ	9:50~10:35	英文法
	10:35~10:50			中休み			10:35~10:50	中休み
3限	10:50~11:35	英文法	数学ロ	理科2	理科1	地理	10:50~11:35	保健体育
4限	11:45~12:30	美術	保健体育	技術	英語	歴史	11:45~12:30	音楽
	12:30~13:10			給食			16:00	最終下校
	13:10~13:30				清掃・昼休み			
5限	13:30~14:15	数学イ	国語B	理科1	道徳	EC		
6限	14:25~15:10	国語A	家庭	地理	特活	数学ロ		
7限	15:20~16:05	歴史		英文法		情報		
	18:00				最終下校			

奈良学園
登美ヶ丘の
1日



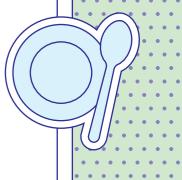
授業



昼休み



クラブ活動



FACILITY

充実した環境のもと、6年間の学びをサポート



スポーツがおもいっきり楽しめる広大なスケールの天然芝の総合グラウンド。

野球場1面、サッカーグラウンド1面及び480mの陸上トラック(ターラン
トラックコース)のある天然芝の多目的グラウンド。観客席も設置しています。

学ぶ意欲を高め、科学的に物事を
見る力を育む充実の理科設備。

天体観測ドーム

天体観測ドームには150mm口径の屈折望遠鏡と200mm口径の反射望遠鏡があり、天体の学習に活用します。また、望遠鏡はPC接続による自動追尾機能が備わっており、本格的な天体観測や撮影が行えます。



サイエンスホール

明るい吹き抜けの空間には、多くの科学者たちの言葉を用いて表現した「言葉(ことのよろず)」の絵図が描かれています。



ライブラリー



室内プール



UNIFORM

オーソドックスな中にも知性が光る制服



冬服
(M)



夏服



冬服
(Y)



中学2年生まで着用します。女子はブレザーの下にセーラー襟のブラウスと可愛いリボンを着用。男子は凛とした雰囲気の詰め襟タイプです。

夏服は中・高(M・Y)共通です。女子は清楚なセーラー服、男子はシンプルなボタンダウンシャツです。

中学3年生から女子の冬服はオーソドックスなブラウスとジャケットの組み合わせになります。男子はファスナータイプの詰め襟。

ナイター設備



ACCESS

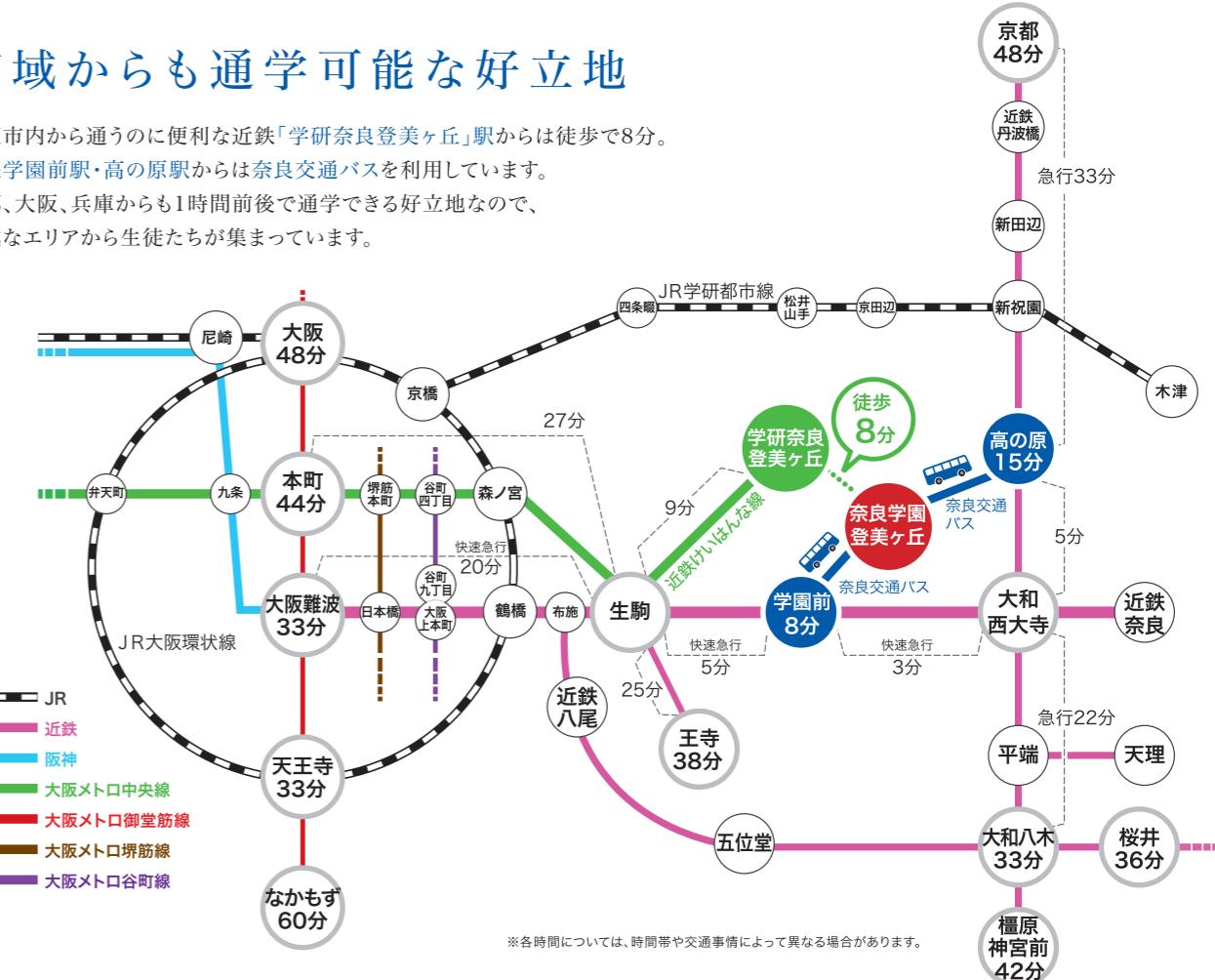
広域からも通学可能な好立地

大阪市内から通うのに便利な近鉄「学研奈良登美ヶ丘駅」からは徒歩で8分。

近鉄学園前駅・高の原駅からは奈良交通バスを利用しています。

京都、大阪、兵庫からも1時間前後で通学できる好立地なので、

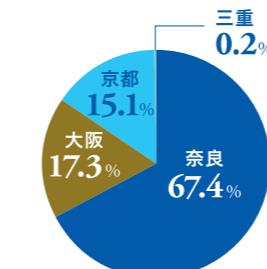
広域なエリアから生徒たちが集まっています。



※各時間については、時間帯や交通事情によって異なる場合があります。

○ 生徒の通学状況(中1～高3)

下図のとおり、奈良県のみならず大阪府や京都府から通っている生徒も多くいます。



在校生エリアマップ



○ 通学者からのメッセージ

京都から
約90分

最初はしんどかったけど、慣れてくると通学時間を作れる時間が朝テストの勉強に使ったりできるようになり、時間の使い方が上手になりました。

大阪北部から
約80分

電車に乗っている時間は勉強時間に充てています。また、友だちと過ごす時間もあります。友だちと話をしていると、あっという間に学校に着いてしまいます。

奈良南部から
約90分

朝、電車の中で勉強ができます。また本などを読み、有意義な時間を過ごしています。今までほとんど電車に乗ることがなかったので、新しい発見が毎日あります。